

ちいきのなかま通信

No.95

発行日：2023年2月6日

発行者：特定非営利活動法人 ちいきのなかま

2023年 ちいきのなかまの仕事と展望

あらゆる方法で、今後の子育て支援施策にこたえられる体制づくりに取り組む

昨年を振り返り…

2022年の大みそか、旧年最後のサポートを終えたときに、私たちは子育て支援に関わるスタッフと会員の皆さんに、心からの感謝をいたしました。2022年度「ファミサポは240件/月、家事サポートは100/月（概数）」年間て3,000件の支援に対応しています。スタッフ、支援者、子どもと子育て家族のみなさんで、年間延べ人数10,000人の人が動く仕組みに成長しており、大きな事故がなく事業が実施できていることは、本当に信じがたい、ありがたいことだと思います。新しい年を迎え、今年も、日々ひとりひとりに事故が無いようにと願うばかりです。

新しい年に…

2024年、国が今後の子育て支援を「給付と支援の一体型」として実施することは本当に意義あることです。子育て家庭に寄り添う支援の構築は、私たちも望んできたことです。先月、民間団体主催でのこの事業の説明会があり、中で厚労省の方が「高齢者福祉のショートステイ・デイサービス・ヘルパー派遣のような支援が子育て家庭にも利用できるようにしたい」と言われていました。確かに必要な支援です。一方で、いつものことですが、不安にもなってもいます。もし、今後、たくさんのご家族が支援を利用された時に、私たちの地域には、それに応えられるほどの社会資源も人材も足りていません。まずは地域資源と人材を育むことが課題です。家庭にごく近い距離での「支援」は子どもとご家族の人権、そしてケアする人たちの人権も守られないといけません。これまで以上に広く、きめの細かい対応できる力を行政も民間も育まないといけません。

だから、今年、しなくてはならないこと…

ちいきのなかまでは寄付の活用で人材と組織の体力を育成します。

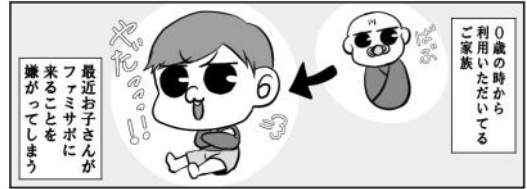
ちいきのなかまでは、2023年は次年度に向けて、組織の足腰を強化すること、人材のさらなる育成が課題です。新規で頑張りたいのは訪問看護ステーションの立ち上げ。そしてもうひとつは、現在の産前産後家事サポートの体制強化です。訪看の立ち上げは手探りでいっぽう一歩です。預かりも家事サポートも現場で人が育ち、組織が鍛えられていきます。寄付でサポートをたくさんの方に利用していただきよりよい実践を重ねて行ければと思います。ちいきのなかまは子どもと子育て家族の皆さんによっても育まれて行きます。

今年も「赤い羽根共同募金テーマ募金」を募ります。事業への応援を心からお願いいたします。



ふみさぽって こ～んなかんじ

by 蓮すけ



今回は、イヤイヤ期の2歳児のお子さんのこと。イヤイヤ期は子どもが自分らしさを表明する発達上大事な時期です。一方、まだ、他者を受け入れるまではできないので、周囲との摩擦が増え、遊びの場面でほかのおともだちとトラブルも増える時期です。もちろんですが、ファミサポの預かり場面では、基本的に子どもさんの意見はほぼ尊重されます。ときどき出会う2歳児のお子さんのわがままやイヤイヤは、支援者の大人にとっては幼いながらの自己表現、成長の証として受けとめることができ、お子さんとの会話を楽しみながら見守ることが出来ます。しかし「強く注意すること」が必要な時もあります。それは危険な行為の時です。当然子どもは行動の制限にストレスを感じます。高頻度のサポートで長時間預かるとその場面は多くなり、注意の頻度も多くなります。ファミサポは仕組み的に日々人も変わるので、人により注意のポイントが異なることも見受けま、結果子どもさんは混乱します。案の定、ある日お子さんがファミサポに行きたくない...と言い始めました。保護者が必要な時に預かれないのはファミサポではアウトです。この方は利用を控えられるようになりました。もう保育園通園の方がいいのではないかと私たちも思いました。第三者が子育てを支援するときには「しつけ」は二の次、甘えられる大人でいさせてもらえたらと思います。乳幼児期、自分を認め受容してくれる大人と過ごす時間を持つことは子どもにとっては大事な体験です。頻度や時間などを調整していい状態にできればと思います。

しばらく、このイラストページではファミサポはじめ支援の時、相互に確認しておきたい子ども預かりのポイントや発達を尊重した支援のかかわり方などを掲載していこうと思います。何かテーマやネタなどありましたら提供していただければ幸いです。

子育て支援の現場からの報告

グラフ1

新年を迎えてからもファミサポと家事サポートそれぞれ多くのご利用をいただいています。グラフ1はファミサポの過去5年間の利用状況です。ちなみに利用料（依頼会員さんが支払った金額）の推移は表1参照。件数の増加は、コロナ禍の影響、一時保育の閉鎖、感染拡大期間の集団保育への抵抗感、そもそも頼れる人がいない孤立化も深刻です。

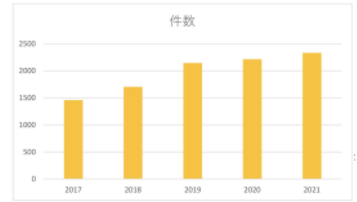


表1

年度	利用料（円）
2020	3,475,000
2021	4,152,000
2022	4,782,000

家事サポートは2019年：32件、2020年：351件、2021年：953件、2022年は1月31日現在で860件ですから、年度末には昨年以上の実績になる予想です。両事業ともに、対応が難しいケースも多々あり、対応が課題です。

配慮を伴い対応したのは下記の様なケースです。

支援者のスキルと努力には感謝しかありません。支援による状況の改善も見受けます。

- 早産・未熟児・低体重児の場合の母親へのケア
- 極度の母親のストレス状態（連日の預かり:体制整い、保育園対応が可能になるまで）
- 婚姻せずに、または出産前に離婚するなど最初からシングルでの子育て
- 登録時に申告なし、実はDV被害者や、離婚係争中である場合
- 出産後の母の精神不安、孤立感 ⇒話し相手がいることで軽減する場合もある。
- 外国人・国際結婚の方の子育て ○障がいのある方の子育ての支援

ごく普通の利用もたくさんある中で、上記のようなケースに日常的に対応しています。今、子育てや家族の姿は本当に多様で支援者は葛藤したり悩むことも多いのですが、ご本人たちは「切り替えている」と言います。まさにマインドフル、です。事務所もそこは支援者のケアとして受けとめ解決を急ぐ時は他機関につなぐことも可能な範囲でしています。ところで、当方の支援の対象者の多くは0歳から2歳のお子さんの家庭です。年々多額になる利用料（利用時間も増加）はすべてご家庭の負担です。制度では現在、3歳以上の保育料は無料となっていますが、0歳1歳2歳児を育てる方々の経済的な負担軽減はこの状況からも必要だと思えます。

これから展開されるかもしれない子育て支援は「伴走型相談支援」ということです。何がどう変わるのか、変わらないのか、2024年度から始まるであろう支援に期待したいと思います。

子育て応援プレイス「そのまま」の今 in 大村市

大村での試験的な子どもの預かり事業は、その後も思いのほか影響拡大しています。モニター利用期間は利用者は負担なしでスタッフがお子様を預かりました。その間に大村のスタッフさんは支援の方法や安全対策を着々と工夫して作り上げてくださいました。主力は50代から60代の女性達です。モニター期間終了後は¥1,000/1時間の利用料で対応しています。行政には子どもの預かり事業の必要性をお伝えし、今後の大村市の子ども施策にも影響していきそうです。未来につながる大きな成果です。しみじみ女性たちの底力に脱帽です。統一地方選も目前、よりよい子育て支援の設置に向けて、声を上げていきたいと思えます。



●これからのイベントや講座の予定●

イベント名	日時	会場	内容
ぼちぼちヨガ教室	2月13日・27日 13:30から	ボランティア センター別館	会員 ¥500 会員外 ¥800
大村市支援者研修会	2月9日 13:00～	大村市	新会員さん向け 事業説明
赤ちゃんの 発達セミナー	2月15日・25日 10:00～12:00	清水地区コミュニ ティセンター	ファミサポ・家事サポ 支援者向け
おもちゃ整理の日	2月14日(火) 9:00頃から	ファミサポ事務所	おもちゃの消毒・整理 協力歓迎!
ぼちぼちいこか食堂	2月16日(木) 10:00ごろから	みんなの実家モン トブレア	参加費無料 要事前申し込み
産前産後家事サポー ト情報交換・研修会	2月18日(土) 10:00～12:00	男女共同参画推進セ ンター「スピカ」	詳細HP HPより申し込み
ファミサポ 会員養成講座	2月21日・22日 28日・3月1日	ボランティアセン ター別館	託児あり・HPより申し 込み

編集後記 あとひと月もしたら桜のつぼみが膨らみ始めるのでしょうか。そんな時期が最も忙しくなるというこの数年。去年は多忙の極みから、エレナ名切店に守永が車を忘れるという大事件が起きました。守永しばらく落ち込んでました。今は元気ですが…。今年は新規事業の準備もあり、初めての取り組みでもあるため忙しさの予想が尽きません…どうなることか。そんなわけで、今年は困ったらSOSを発信しようと思います。皆さんに信号が届いたら、どうかご協力よろしく願いいたしますく(_ _)>

NPO法人ちいきのなかま



入会・会員(正・賛助)

正会員: 総会議決権あり 入会金 ¥1,000 年会費 ¥6,000

賛助会員: 総会議決権なし 年会費 ¥3,000

主な特典: 各種事業会員特別料金にてご優待

連絡先 NPO法人ちいきのなかま

携帯 090-9498-3608

E-mail: chiikinonakama@basil.ocn.ne.jp

HP: <http://chiikinonakama.boj.jp/>